

令和3年度第1回北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター部会開催概要

- 1 開催日時 令和3年7月15日（木） 10:00～11:00
- 2 開催場所 北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター 101教室
- 3 主な議題
  - ・令和2年度事業実施状況について
  - ・令和3年度事業実施計画及び実施状況について
  - ・その他

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明を行った後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ものづくり体験教室が残念ながら中止となってしまったので、再開に向けてご尽力お願いしたい。
- ・企業実習の職業訓練を行う際、高齢な訓練受講者が企業に出向き若い社員から教を乞う時にしり込みするという点において、企業側に立った際の対応を検討していかなければならないと感じた。
- ・オリンピックバトミントンチームの函館入りや縄文の世界遺産登録の見込み等明るい話題が出ている一方、変異株の疑いやワクチンの遅延等、一進一退の状況が続くなか、雇用対策についてはタイミングを見計らいながらスピード感をもって実施していければと考えている。今回の運営協議会の様な委員の方々から情報をいただく場面を設け、連携して進めていくのが一番だ。
- ・ビジネスワーク科については今後も市民の技術向上に大事だと思っているため、継続してほしい。中小企業が生き残るために、どうしても生産性向上は避けられない課題であるとともに企業が生き残っていく道であると感じた。
- ・女性は比較的短時間の労働や通常より遅く始まり早く終わるような仕事が好まれていると考えており、そのようなニーズに合う仕事で女性が就きそうな業種、例えば販売業やネイルの仕事等の訓練を設定してほしい。ZOOMなどWEBを併用して訓練を実施することが有効だと考える。また、生産性向上支援訓練に関しては中小企業の担当者に紹介しやすい内容だと感じた。
- ・令和2年度実績を見て苦戦されていると感じたが、それを参考として就職率等の実績が向上している点に感心した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業者が増えている状況で、今後雇用調整助成金等で雇用対策が配慮されれば一気に改善されると考えるが、ポリテクセンター函館で職業訓練を受けている人達が就職に向けてのツールになっていると思うので頑張してほしい。訓練受講者に高齢者が多く若年層に広報が行き届いていないとの話があったが、ハローワークでの説明会等の広報の機会を活用して、ぜひ多くの方々に知っていただける機会を作してほしい。そして定員充足率・就職率100%を目指してほしい。
- ・現在、航空機産業の経済対策を行っているが函館での航空機分野での就職は難しい状況である。高度な技術は難しいと思うが、函館市内で必要な人材を確保するために各企業がハローワークや各機関と連携して人材育成に取り組んでほしい。

- ・生産性向上支援訓練の実施に関し、その相談先が函館市にあることが貴重であると感じた。ポリテクセンター函館が市内にあり相談してみようと思う地域の企業が増えているということはとても良いことで、国の施設なので様々な施設設備がありそれを有効活用したり、また関係機関と連携して施設設備等を地域ニーズに応えられるように整備していたりということを確認できた。

令和3年度第1回北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター部会委員名簿

松浦 俊彦	(座長)	北海道教育大学函館校キャリアセンター函館校センター長
杉本 秀司		函館公共職業安定所所長
菅野 則彦		北海道渡島総合振興局産業振興部地域産業担当部長
小林 利行		函館市経済部部長
長谷川 義樹		連合北海道渡島地域協議会会長
竹内 正幸		函館商工会議所事務局長
嘉堂 聖也		北海道中小企業家同友会函館支部函館支部長
小西 義人		函館建築工業協同組合理事長
高山 則夫		北海道機械工業会函館支部支部長

(敬称略)